企業・団体名(アート金属工業株式会社)

※記載例を参照の上、ご記入ください。

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

_								主なSDG	s (17	ゴールと169	ターケ	デット	-)関連」	連項目								
カテ	チェック項目	取組	<mark>『非該当</mark> 』 の場合 選択入力	【予定】の	具体的な取組	1 2	3	4 5	6	7 8 9	10	11	12 13	14 15	5 16 17							
ゴリ	ノェノノ 機口	レベル	選択入力	場合 選択入力	(果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	174 5464	s anc. ⊸v/÷	MII O	B BROW	* M	\$0:000° 4\$>	alla		15 KI 177	BOUT BANG							
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本			就業規則に記載され、従業員に周知している。また、 相談窓口も設置済み			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7							
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			研修の実施、相談窓口を設置している。年1回の全社 教育および、役職別に適宜教育を実施している。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1							
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働是正のための時間外管理、勤務体制の整 備、対応を行っている					8.5 8.8												
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			就業規則に記載され、従業員に周知している。また、 相談窓口を設置済み			4.4		8.7 8.8	10.2 10.3											
⁵ 人 権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全巡視を行い、労働環境のチェック、改善に取組んでいる		3			8												
· 分 動	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルス研修の実施 ・ストレスチェックの活用による未然防止の実施 ・休職者に対する、復職支援		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できる環境を整備すつ為にアンケー ト調査等によるヒアリングの実施			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3											
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職務や役割に応じた教育体制を整備し、実施している			4 5.5		8 9												
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則を理解し、対応している			5.5		8.5	10.2 10.3											
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			健康経営優良法人認定(経済産業省)の取得。日帰り ドッグやインフルエンザワクチン接種への補助などを実 施している。毎月1回以上の健康推進情報を展開して いる。		3			8												
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の排出に対して、目標値を設定して活動を推進 している							11.6	12	14.1								
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			各エネルギー使用量、CO2排出量を把握し、目標値を 設定して活動を推進している					7.3			13									
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			CO2排出量削減の為の特別組織を編成し、排出抑制の展開を推進している					7.2 7.3			12.4 13.3									
14 環 境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握 ・しくみとルールを作り、取り組んでいる		3.9		6.3			11.6	12.4									
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	【非該当】		活動としては未着手				6.6					15	5							
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃棄物については、ゼロエミッションの維持の為、リサイクル化を推進している								13	14.1								
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の水利用状況を把握し、目標値を設定し、使用量 制限の活動に取り組んでいる				6.4 6.6													

	+		取組レベル					主な	Ç SDGs	s (17	ゴー	ルと169	ターケ	゛ット)	関連項	頁目	
	テ	チェック項目		【非該当】 の場合	[予定]の			3 4	5	6	7	8 9	10	11 12	13	14 15	16 17
	ゴリ			選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	2 21 1494	3 mm 4 mm 1	5 km="	<u>Å</u> 8 885∞	•	M	10:020**	\$ 000 miles	B:::::	M and	18 TO SAID
18		【環境マネジメントシステム】 ・18014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			2001年よりISO14001を認証取得		3.9		6	7			12	13.3	14 15	
18 19 環境 20 21 22 23 24 公正な事業慣行 製品	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			HPにて環境方針を掲示し開示している								12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			2013年より太陽光発電を導入している					7.2				13		
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			生産効率向上の取組みとして歩留まり改善に取り組んでいる。また、生産段階で発生したスクラップは、グループ企業で100%再生材として活用している。								12.2	13	14 15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			アイシングループサステナビリティ憲章、行動指針で汚職・贈収賄禁止に対する行動規範を整備、周知すると共にHPに腐敗防止方針を掲示し、浸透を行っている											16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			アイシングループサステナビリティ憲章、行動指針で不 正競争防止に対する行動規範を整備、周知すると共 にHPに独占禁止法遵守方針を掲示し、浸透を行って いる											16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			特許、商標等知的財産権の取得、管理をしている						8.2 8.3 9					
25	正な事	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報保護規程を制定し、規程に基づいた管理を している ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底している											16
26	慣	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			1回/年、紛争鉱物に関する調査を対象調達先に対して実施し、報告書の提出をして頂いている											16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			1回/年、調達先の皆様とコンプライアンスを始め重要 課題に対する認識を共有する為の会合を持ち、周知を 図っている。			5			8	10	12	13	14 15	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8 9	10				17
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			デザインレビューを実施し、設計上の安全を担保している。		3.9						12.4			
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			S09001/ ATF16949で品質保証システムを確立し、 それに基づいた品質保証体系を運用している。						9					
31	・ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			燃費の改善を通じてCo2削減に貢献する事を重要なテーマとして取り組んでいる。				6				12	13	14 15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			電動化部品のなどの量産化に取り組む	1 2	3 4	5	6	7	8 9	10	11 12	13	14 15	16 17

_								Ė	なSD	Gs ((17ゴー	ールと	1695	ーゲ	ット)	、)関連項目		$\overline{}$
カテゴ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の	具体的な取組	1	2	3	4 5	(5 7	8	9	10 1	1 12	13 14	15 16	3 17
ゴリ			選択入力	選択入力	(果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	124 Joseph	2 27:	-w/*	:- ≰i ∳	1 1	***************************************	3 ii		00000 A	E 2311	BITTLE MARK	15 %(************************************	D sealer (SE)
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域雇用への貢献、納税の義務、植樹、清掃など環境保全活動への積極的な貢献、近隣小学校社会科工場見学の受け入れ等を実施している				4				9	1	1 12	14	15	17
地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・スペシャルオリンピックス日本長野への寄付 ・地域小学校への環境学習プログラムの実施 ・交通安全意識向上の為の交通安全立哨活動の実施				4					1	1	14	15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			生産段階で発生したスクラップは、グループ企業で 100%再生材として活用している。							8	9	1	1 12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			職制を通じたミーティングでの周知、職場への掲示、社 内報での広報を実施している							8	9					17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			コンプラライアンス委員会の設置、ケ-ススタディを用いた 職場単位の教育、社内報による広報を実施している												16	;
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			経営管理部に社内のSDGs推進責任者を置き、2回/年のマネジメメルビューで進捗を確認する体制を整備している。												10	3
39 組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			営業担当が得意先から取り寄せるスコア(評価)を関係 部署で共有・分析し、改善に取り組んでいる。												16	6 17
40 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			社長をトップとしたリスクマネジメント委員会を設置し、重点リスクの抽出、各部方針への改善活動の織り込み、方針管理でフォロー、の仕組みを整備している												10	16
41	【社会的責仕】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	チャレンジ			経営目標に「環境経営の実現」を掲げ、事業活動を通 じた社会課題の解決に取り組んでいる												16	3
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			BCPマニュアルを整備して適切な初動対応が取れるようにする事で、事故や災害発生時の影響を極小化する取り組みを実施している。								9	1	1	13 13.1	16	3
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			事業戦略を担当する部署として経営企画部を設置し、 既存事業の競争力強化と新規事業の開発の両面から 中期経営計画を作成、推進している。							8	9					17
上言	・ 別以外で設定した取組項目																	
	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4 5	(5 7	8	9	10 1	1 12	13 14	15 16	3 17
																	$\perp \perp$	
																	$\perp \perp$	\perp

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定